共立女子大学大学院　家政学研究科　建築・デザイン専攻　カリキュラムマップ

NO.	科目区分		科目コード	科目名称	配当年次	単位数	到達目標	DP1-1　客観性・自律性―学識と倫理 知識基盤社会を支える人材として、広い視野に立ち、高い倫理観とともに、「空間」や「モノ」に関する高度な学識を身に付けている。	DP1-2　客観性・自律性―主体的判断力 社会や環境の変化に対応するために、「空間」や「モノ」に関する高度な学識に基づき、主体的に思考し、自律的に行動することができる。	DP2-1　課題発見・解決力―社会的役割 建築・デザインの果たす社会的役割を理解し、「空間」や「モノ」に関する学術的研究を通して、社会的・経済的価値を創出することができる。	DP2課題発見・解決力―課題解決力 建築・デザインに関する多様な課題を発見し、論理性や批判的思考に基づき、自ら課題解決に向けて仮説を構築し、検証することができる。	DP3リーダーシップ 専門的な知識・技能の異なる他者と協働して課題に取り組み、計画的に行動することで、広く社会に貢献することができる。
1	共通科目		2209101	家政学総合研究	1	2	1.客観性・自律性 知識基盤社会を支える人材として被服学、食物学、建築・デザイン、児童学における高度な知識・技術と高い倫理観を身につけることができる。 2.客観性・自律性 将来の社会や環境の変化に対応するために、将来の社会や環境の変化に対応するために、被服科学・服飾文化に関する高度な学識に基づき、主体的に思考し、自律的に行動することができる。 3.課題発見・解決力 被服学、食物学、建築・デザイン、児童学の果たす社会的役割を理解し、研究成果の社会実装による課題解決や、新たな社会的・経済的価値の創出、もしくは、人間的・社会的意義の探求の観点から説明できる。 4.課題発見・解決力 被服学、食物学、建築・デザイン、児童学における多様な課題を発見し、論理性や批判的思考に基づき、自ら課題解決に向けて仮設を構築し、検証することができる。 5.リーダーシップ 被服学、食物学、建築・デザイン、児童学という異分野・立場の異なる人々と協働により、客観性・自律性、課題発見・解決力、リーダーシップ等の汎用的能力を修得し、計画的に行動することで、広く社会に貢献することができる。	○	○	○	◎	◎
2	専門教育科目	建築領域	2207250	特論　建築形態論	1	2	・建築を構成する幾何学的形態の視覚的特性を説明できる（知識・理解） ・建築空間を構成する基本形態（構造、素材、環境）を説明できる（知識・理解） ・幾何学立体の組合せパターンを説明できる（知識・理解） ・建築空間を創る際の形態操作ができる（技能） ・これらの知識を実際の設計に生かすスキルを生かすことができる（思考・判断・表現）	◎	○	○	○	
3			2207255	特論　建築空間計画	1	2	・日本における建築計画の変遷を理解することにより、建築と人々の生活、それを取り巻く社会状況の変化との関係を説明できる（知識・理解） ・建築空間や都市空間のプログラム、プランニングといった計画プロセスやその基礎的手法を使うことが出来る（技能） ・インターンシップ受講前に、建築設計者としての責任の重要性など実務を行う上で必要な知識を応用し示すことができる（関心・意欲・態度）	◎	○	○	○	
4			2207260	特論　構造デザイン	1	2	・設計する建築の用途、目的に最適な構造のデザインを行うための専門知識を具体的に説明できる（知識・理解） ・設計する建築の用途、目的に最適な構造の形にできるデザイン手法を駆使できる（技能） ・設計する建築の用途、目的に最適な構造計画ができるようになる（思考・判断・表現）	◎	○	○	○	
5			2207265	特論　環境デザイン	1	2	・快適な住生活を営むために必要な室内環境の在り方と住宅設備に関する知識を関係づけることができるようになる（知識・理解） ・環境・設備システムに関する最新技術と情報を身につけ、これらをことができる（知識・理解） ・中高専修免許（家庭）に関連して、住生活の構成と計画について具体的に述べることができる（知識・理解） ・実際の計画・設計に生かせる環境共生システムの技術と考え方を身につけ応用できる（技能）、（思考・判断・表現） ・インターンシップを行うよって建築設計者として必要な建築設計における考え方等の必要な知識を身に付け示すことができる（関心・意欲・態度）	◎	○	○	○	
6			2207270	特論　都市景観デザイン	1	2	・都市を形成する各要素について、具体的な例をあげて、それをどう変えてゆくか、どう維持するかなどを議論し評価できるようになる（知識・理解） ・「中高専修免許（家庭）」に関連して、生活環境と福祉/住生活関連法規について具体的に述べることができる（知識・理解） ・他方で先進事例をながめてその制度的な背景を考える、評価し具体的に述べることができるようになる（思考・判断・表現）	◎	○	○	○	
7			2207275	特論　住生活デザイン	1	2	・「中高専修免許（家庭）」に関連して、住生活と文化について説明することができる（知識・理解）・本来の「ひと」、「もの」、「空間」の有機的関係を理解している。「ひと」、「もの」、「空間」に関する文献研究・デザインサーベイ手法を実施できる（技能）・過去・現在における「もの」、「空間」の実践的分析能力で考察し応用できる（思考・判断・表現） ・纏め上げた結果を表現することが出来るようになる（思考・判断・表現）	◎	○	○	○	
8			2207280	特論　住生活史	1	2	・歴史の中で、住生活における「ひと」と「もの」と「空間」の有機的関係について説明できる（知識・理解） ・「ときのめぐり」と「ときのながれ」のなかで、「うつろうもの」と「ときわのもの」を洞察し、それらの関係を説明できる（知識・理解） ・「中高専修免許（家庭）」に関連して、住生活と文化について説明できる（知識・理解） ・それらの関係を考察し問題点を指摘することができるようになる（思考・判断・表現）	◎	○	○	○	
9			2205125	建築設計I	1	4	・建築設計・インテリア設計の実務家である教員の指導のもと、現実の設計行為を念頭に置いた各種プロジェクトを通じて、設計行為に必要なデータを比較分類することができるようになる（知識・理解） ・それらを通じて、設計行為に必要なプレゼンテーションができるようになる（技能） ・それらを通じて、空間を設計できるようになる（思考・判断・表現） ・それらを通じて、設計行為に必要なすべての物事に関心を持てるようになる（関心・意欲・態度）	○	◎	◎	◎	◎
10			2205126	建築設計II	1	4	・建築設計・インテリア設計の実務家である教員の指導のもと、現実の設計行為を念頭に置いた各種プロジェクトを通じて、設計行為に必要なデータを比較分類することができるようになる（知識・理解） ・それらを通じて、設計行為に必要なプレゼンテーションができるようになる（技能） ・それらを通じて、空間を設計できるようになる（思考・判断・表現） ・それらを通じて、設計行為に必要なすべての物事に関心を持てるようになる（関心・意欲・態度）	○	◎	◎	◎	◎
11			2205128	インターンシップA	1・2		・大学院修了後、実社会の中で即活躍できるようにするために、建築設計の実務能力として必要な業務知識を具体的に述べることができる（知識・理解） ・一級建築士の指導のもとで指導を受け、企画書・計画書・設計図書・工事監理書の作成等ができるようになる（技能） ・建築設計の補助業務を行うことを通して、建築設計・工事監理の実務（建築工事の指導監督、建築確認に関するものを含む。）を体験することで実社会で業務を遂行することができる（思考・判断・表現）	○	○	○	○	◎
12			2205129	インターンシップB	1・2		・大学院修了後、実社会の中で即活躍できるようにするために、建築設計の実務能力として必要な業務知識を具体的に述べることができる（知識・理解） ・一級建築士の指導のもとで指導を受け、企画書・計画書・設計図書・工事監理書の作成等ができるようになる（技能） ・建築設計の補助業務を行うことを通して、建築設計・工事監理の実務（建築工事の指導監督、建築確認に関するものを含む。）を体験することで実社会で業務を遂行することができる（思考・判断・表現）	○	○	○	○	◎
13			2205130	インターンシップC	1・2		・大学院修了後、実社会の中で即活躍できるようにするために、建築設計の実務能力として必要な業務知識を具体的に述べることができる（知識・理解） ・一級建築士の指導のもとで指導を受け、企画書・計画書・設計図書・工事監理書の作成等ができるようになる（技能） ・建築設計の補助業務を行うことを通して、建築設計・工事監理の実務（建築工事の指導監督、建築確認に関するものを含む。）を体験することで実社会で業務を遂行することができる（思考・判断・表現）	○	○	○	○	◎
14			2205131	インターンシップD	1・2		・大学院修了後、実社会の中で即活躍できるようにするために、建築設計の実務能力として必要な業務知識を具体的に述べることができる（知識・理解） ・一級建築士の指導のもとで指導を受け、企画書・計画書・設計図書・工事監理書の作成等ができるようになる（技能） ・建築設計の補助業務を行うことを通して、建築設計・工事監理の実務（建築工事の指導監督、建築確認に関するものを含む。）を体験することで実社会で業務を遂行することができる（思考・判断・表現）	○	○	○	○	◎
15		デザイン領域	2207285	特論　伝達デザイン	1	2	1.この授業では、伝達デザインの様々な手法について、講義とミニ演習を体験する事でより深く理解することが出来る。（知識・理解） 2.講義とミニ演習を繰り返し体験する事で、伝達デザインの原点となる思考・判断・表現力を身につけることができるようになる。（思考・判断・表現） 3.幅広く伝達デザインの知識を得ることで、デザイン制作においてのディレクション技能の基礎が身に付く。（技能） 4.デザインを通して世の中を知る事により、変化する生活に対する感性が増す。（関心・意欲・態度）	◎	○	○	○	
16			2207290	伝達デザイン演習	1	2	・人々の生活における様々な視覚媒体、その背景にある生活者の行動や社会問題を総合的に理解することにより、視覚伝達デザインに関する知識を身につけることができる。（知識・理解） ・視覚伝達デザインの高度な技術と思考を修得し、問題提起から提案を行い判断し、企画書やレポートによる、実践的なプレゼンテーションをすることができる。（思考・判断・表現） ・自らの考えを発展した具体的なデザイン作品を提案できる。（技能） ・作品の完成へ向けて、リサーチ・発想・プランニング・視覚化・提案・実行・改良のデザインプロセスを通し、問題解決を能動的に取り組むことができる。（関心・意欲・態度）	○	◎	◎	◎	◎
17			2207295	特論　プロダクトデザイン	1	2	・生活の場における「人」と「もの」との関係について学び、美的な生活に関するプロダクトデザインのかかわりを知ることができる。（知識・理解） ・現状調査、分析することができる。（技能）、（思考・判断・表現） ・検討した結果としてカタチの提案ができる。（技能）、（思考・判断・表現） ・プロダクトデザインにおける「美的要素」、「社会性」、「機能・構造・材料・製造技術」、「販売」、「使用後の処理」を理解する能力を身に付ける。（知識・理解）	◎	○	○	○	
18			2207300	プロダクトデザイン演習	1	2	・21世紀に入って、人間を取り巻く環境は著しく変化している。無限と思われた地球環境は有限である事に私たち現代人は直面している事実の知識を得て、理解できる。人間が作り出したプロダクト製品は、単に生産して消費するシステムの見直しを考えなければならない事を理解できる。（知識・理解） ・そのような大きな視座からこの演習はプロダクトデザインの在り方、提案できるようになる。（思考・判断・表現） ・そして、プロダクト作品制作を通して提示する事ができる。（技能） ・テーマについては担当教員との協議により決定する事により社会と自分との関係に関心が向かい意欲が増す。（関心・意欲・態度）	○	◎	◎	◎	◎

19	域	2205108	特論　マーケティング	1	2	・企業そのものや製品等をまず戦略的な思考からマーケットを導き出し、デザインが考えられるようになる。60年代より半世紀に渡りアメリカにおいて築き上げてきた広告メソッドを研鑽し、テキストとした「4StepsPlanning Methods」と「Buying System」を使い解説を受ける事により知識・理解ができるようになる。デザインの制作に取りかかる前に市場の知識を得、消費者の心理（コンシューマーインサイト）を理解できるようになる。（知識・理解） ・ビジネスで重要な書類（ステートメント）をフォーマットに則して制作する技能を取得する。（技能） ・そのようでデザイン制作をして、相手に対し論理的な説得力のある思考と表現ができるようになる。（思考・判断・表現） ・私たちの生活を取り巻く市場に関心を持ち、生活者としての意欲が高まる。（関心・意欲・態度）	◎	○	○	○	
20		2207310	特論　パブリックデザイン	1	2	・グラフィックとプロダクトの観点から、文献研究・フィールドワークなどを通じて、パブリックデザインについて学びその方策を研究し理解できるようになる。（知識・理解） ・パブリックデザインは、欧州で盛んな研究テーマであることから、公共サインのありかた、サイン・広告の基準や制度、科学的な研究、先進デザインを学びつつ、チームでの作業や実践を通した活動で、この分野についての理解を深める事ができる。（知識・理解） ・実践的なフィールドワークを通して、その問題を分析し、新たなデザイン的な提案に向けて思考、判断する事ができる。（思考・判断・表現） ・それにより具体的なデザイン提案ができる技能が得られる。（技能） ・その提案が公共などどのような効果をもたらすか理解でき、社会に対する関心や意欲が深まる。（関心・意欲・態度）	◎	○	○	○	
21		2207315	パブリックデザイン演習	1	2	・文献研究・フィールドワークなどを通じて、パブリックデザインについて学びその方策を研究し知識と理解ができる。（知識・理解） ・パブリックデザインは、欧州で盛んな研究テーマであることから、公共サインのありかた、サイン・広告の基準や制度、科学的な研究、先進デザインを学びつつ、チームでの作業や実践を通した活動で、この分野についての理解を深める事ができる。（知識・理解） ・実践的なフィールドワークを通して、その問題を分析し、新たなデザイン的な提案を行う事ができる。（思考・判断・表現） ・それにより具体的なデザイン提案ができる技能が得られる。（技能） ・その提案が公共などどのような効果をもたらすか理解でき、社会に対する関心や意欲が深まる。（関心・意欲・態度）	○	◎	◎	◎	◎
22	特別研究	2207235	建築・デザイン特別研究Ⅰ	1	4	・問題が明確で、テーマ設定が適切に設定できる（知識・理解） ・事実調査・文献資料などの探索が十分にできる（技能） ・引用等が適切で、論文としての体裁が整えられる（技能） ・調査分析の内容の記述や展開が合理的に行える（技能）、（思考・判断・表現） ・先行研究を検討・吟味できる（思考・判断・表現） ・分析方法を明確にし、論理展開に一貫制を持たせることができる（思考・判断・表現） ・結果としての結論や「かたち」にオリジナリティを待たせることができる（思考・判断・表現）	◎	◎	◎	◎	◎
23		2207240	建築・デザイン特別研究Ⅱ	1	4	・問題が明確で、テーマ設定が適切に設定できる（知識・理解） ・事実調査・文献資料などの探索が十分にできる（技能） ・引用等が適切で、論文としての体裁が整えられる（技能） ・調査分析の内容の記述や展開が合理的に行える（技能）、（思考・判断・表現） ・先行研究を検討・吟味できる（思考・判断・表現） ・分析方法を明確にし、論理展開に一貫制を持たせることができる（思考・判断・表現） ・結果としての結論や「かたち」にオリジナリティを待たせることができる（思考・判断・表現）	◎	◎	◎	◎	◎
24		2207245	建築・デザイン特別研究Ⅲ	2	6	・問題が明確で、テーマ設定が適切に設定できる（知識・理解） ・事実調査・文献資料などの探索が十分にできる（技能） ・引用等が適切で、論文としての体裁が整えられる（技能） ・調査分析の内容の記述や展開が合理的に行える（技能）、（思考・判断・表現） ・先行研究を検討・吟味できる（思考・判断・表現） ・分析方法を明確にし、論理展開に一貫制を持たせることができる（思考・判断・表現） ・結果としての結論や「かたち」にオリジナリティを待たせることができる（思考・判断・表現）	◎	◎	◎	◎	◎